



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

# みしよ

No. 330

令和4年12月23日(金)発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/>



## 目に見えない支えに感謝

校長 後藤 正美

本日の終業式で、「おしゃか様の指」という話を紹介しました。

おしゃか様が、天から人間の世界を見ていると、一人の男が荷車を引いて歩いていました。すると、荷車がぬかるみにはまってしまいます。男が引いたり押したりしても、荷車はびくともしません。助けてもらおうと周囲を見渡しても誰もいません。大きな声で人を呼んでも誰もいません。「自分の力で何とかするしかない」と、男は決意します。

男が人に頼らず、自分の精一杯の力で荷車を引き出そうと決心した姿を見ると、おしゃか様は、男には「見えない指」で、荷車をひょいと後ろから押してあげました。すると、荷車はカラカラと音を立てて動き出します。男は、当然自分の力で引き出したと思っていた。もし、おしゃか様が「わたしが押してあげたのですよ」と言えば、男はお礼を言うでしょう。しかし、次にこういう困ったことが起きたとき、またおしゃか様や誰かに頼る心が起きてしまいます。だからこそ、おしゃか様はだまって押してあげたのでした。

自分自身の力で成し遂げたと考えていたことでも、実は周囲の方から支援されていたからこそできたということがあります。これは学校生活だけでなく、社会や家庭でもあることです。

例えば、4年生は鼓笛練習を頑張り、ぐんぐん上手になっています。上手になってきたのは、先生方の指導もありますが、5年生のさりげない励ましの言葉掛けの力も大きいでしょう。また2学期には、各学年が充実した体験学習を進めることができました。次年度への環境整備のためにバラの剪定・誘引作業も行われました。これらは、見小っ子のためにお力添えいただいた地域の指導者やボランティアの皆様のおかげです。

人が成長するためには、直接的な指導や激励も大切です。しかしながら、他人に頼りすぎず、自立する子に育てるためには「おしゃか様の指」としての見えない支援が不可欠です。見守りと言ってもよいでしょう。子どもたちには、日頃からさりげない支援や環境づくりをしてくださる保護者・地域の皆様へ感謝し、今度は自分たちが、家庭や地域に貢献する冬休みにしてほしいと話しました。

皆様からの多大なご支援とご協力に感謝申し上げます、皆様お揃いでよいお年を迎えられますことを、心よりお祈り申し上げます。